

4コマ漫画

関鉄レールパートナー
みつま りゅうひ 編



竜ヶ崎駅で「駅コン」を開催 11・13・15時の3ステージ 鑑賞無料

8月31日(土)



エレクトーンライブ
ついに見せた本気(マジ)度

かんスポ片手に おはよ!
かんてつスポーツ 号外

守谷詩音始動

竜鉄開業124年の衝撃展開

竜鉄コロッケ 駅前のミントツリーにあるよ!



想定外のコロナ感染を受け、生活環境が激減した。地域公共交通に対するダメージは大きく、竜ヶ崎線は、ピーク時で35%のお客が減少した。現在は増加傾向にあるものの、コロナが5類に転じても未だ10%の利用者が戻らない状況だ。今なお小さな鉄路が泣いている。

地域公共交通は、何人も平等且つ安価に利用できる輸送機関。しかしながら顕在化する人材不足、24年問題を背景とする労働時間の抑制など社会的規制の強化により、安定運行が困難になる事態が地方の問題にとどまらず、首都圏各地でも起こっている。

竜ヶ崎線は1900(明治33)年8月14日の開業から今年、124年を迎えた。

持続継続した「あたりまえ」を止めないために、市民をはじめ多くの方々の竜鉄への愛乗こそが、何よりの処方箋であると認識する。

8月31日(土)、関東鉄道竜ヶ崎線・竜ヶ崎駅で「駅コン in 竜ヶ崎駅」を開催する。駅が輸送機関だけではない、街の玄関口としての付加価値を創出し、多くの方々が駅に立ち寄り、かつ利用促進が狙いだ。

関鉄レールメイトで演奏者の守谷詩音さんは、東京音大大学院生としてこれまで、守谷、下妻、波ノ江の各駅でエレクトーンパフォーマンスを披露し、来客者を楽しませてきた。「音楽を通して、お客様を幸せにした」と意欲を示す。

駅は街の玄関口、地域公共交通の「あたりまえ」を止めない

交流人口増加で利用促進へ

竜ヶ崎線は、竜ヶ崎駅と佐貫駅間の4.5kmの短路線。電車ではなく、内燃動力車(ディーゼル車)の運行だ。中間駅に入地駅ひとつを置く。昭和32年までは、南中島駅を置いていた。駅の集約を路線環境は、田畑を一直線に貫き、ポットは大きな観光資源を忘れない。鉄路の懐かしさ、時がゆるく流れる。今なお息づいて、開業124周年を機に、産と位置づけ「龍ヶ崎市遺産」に認定された。

市域公共交通活性化協議会会長で、UICの長年、字義の「永年」にちなみ、正しく動く「永年」を盛り上げる。活きた。活性化の推進に注力した。

組よる。活きた。活性化の推進に注力した。



乗ろうよ、竜ヶ崎線。

竜鉄コロッケ☆フリーきっぷ(600円)

竜ヶ崎駅で毎日、好評発売中!

※市内のコロッケクラブ龍ヶ崎加盟店で使える200円分の割引券付き



桃浦美帆